

KOKUSAI KOTOKU GAKUIN
学校法人 国際ことば学院学校法人 国際ことば学院 法人本部事務局
〒422-8076 静岡市駿河区八幡3-2-12
TEL:054-286-0788 FAX:054-260-7836
<http://www.kotoba.ac.jp>

理事長 袴田 靖子



ようこそ日本へ、ようこそKKGへ

首を長くして日本留学を待っていた若者たちがやっとKKGの仲間入りをします。今年度四月生が法人全体で予定数の半分しか入国できず、残りの半数と、さらに七月生、十月生は在留資格を取得しながらも母国に足止め状態が続いておりました。来年三月まではこのままの状態で行くしかないのではというのが学校としての読みでしたが、突然九月中ごろ、政府より入国が段階的に開始されるという発表があり、日本語学校に「レジデンス・トラック」とやらの規定に基づいた入国手続きに対応するようお達しがありました。出国前のPCR検査、陰性確認後入国、さらに、入国後二週間の隔離生活等々が課されます。これらのルールを違えた場合、あるいは感染者を出した場合、学校名を公表するなど厳しい罰則も伴います。この窮地に奨学会が手を差し伸べてくださいました。隔離期間中の滞在経費の一部をご支援くださることになり、いよいよ待ちに待った受け入れが始まりました。

地球通信読者の皆様、その後お変わりありませんでしょうか。前回の通信は梅雨時でした。あれから四ヶ月余・・・covid19は世界に居座っています。静岡県内での急速な感染拡大を前に、本学県内三校は休校にしたりオンライン授業にしたりするなど各校対応に追われています。静岡から一校だけ離れている大和校もさみしい思いをしながら奮闘してくれています。下手をすると今年はこのような態勢で年を超えなければならないのかもしれないかもしれません。何という、何という年末年始でしょうか・・・！！

海外旅行もパーティも何の不安もなく楽しめるのが当たり前だったコロナ前の生活はまた私たちの手に戻ってくるのでしょうか。一向に出口の見えない状況に心が萎えそうになりますが、この不安感や閉塞感はいったいどこからやってくるのでしょうか。おそらくコロナ前の生活を基軸に考えているからではないのでしょうか。できることには限界があると悟り運命に身を任せることを思い出したら、私たちの不安感や閉塞感は軽減されるかもしれません。そもそも、人生は苦勞の連続で、何事も計画通りに進むはずだと思い込んでいること自体が傲慢なのかもしれません。このコロナ災禍で学んだことは、人間は所詮大きな時間の流れと自然の摂理の中で生かされているちっぽけな存在だということ、突然の災害や人知を超えた不幸に対してはなす術がないという時もあること、物事の理屈や人間の権利や行政の責任などをはるかに超える不条理の中で人は生きているということなどです。

一方で、私たち人間の小さな手の中に残されているものが、実は人間にとって一番尊いものだったということにも気づきました。例えば、少々血圧は高いけれど日々を楽しめるだけの健康と体力、雨をしのぎ食べる物にはなんとか困らないささやかな生活、愚痴を吐き出せ、私のわがままや不満を受け止めてくれる家族や友人・・・生かされていることへの感謝と人生の根源的な喜びを教えてもらったような静かな安堵感が全身に広がります。より上を、より前を目指すことは悪いことではないし、決してネガティブになる必要はないけれど、「人はみな大河の一滴」（五木寛之）に立ち戻り、シンプルに淡々と生きること決して不幸なことではないと思い直してみたいかがでしょうか。

今日は11月24日。外は小春日和の温かさです。開けた窓から日差しが差し込んでいます。窓の外は例年と変わらぬ景色を見せているのに、私たちの心の中に重く広がる不安だけがいつもと違います。忍耐と叡智と工夫によってここまで時を刻んで生き抜いてきた私たち人間が今試されています。



中国語

「第38回全日本中国語スピーチコンテスト静岡県大会」で1位と2位を獲得！

第38回全日本中国語スピーチコンテスト静岡県大会が2020年10月24日にオンラインで開催されました。本校の学生2名、マルチ1Aの浅井克己さん、マルチ2Cの榎本芽生さんが出場しました。浅井さんは大学・大学院生の部スピーチ部門で2位、榎本さんは同部の朗読部門で1位を取りました。浅井さんは独学で中国語を勉強したため、発音の癖がかなりありましたが、繰り返しの練習で発表当日はかなりよくなっていました。榎本さんは中国語の発音を磨きたいという理由でスピーチ大会に出ることにしました。本人の努力もあって、堂々の1位となりました。来年1月に開催される全国大会にも推薦されました。彼女本人も今回の大会を通して手ごたえを感じたようです。その上普段の中国語の発音もとてもきれいになりました。今回は初めてのオンライン開催で、指導者側としていろいろな不安はありましたが、コロナ禍でも参加することができ、さらに優勝できて担当者として安堵しています。（鄭）



スピーチ コンテスト



韓国語

「第18回神奈川県韓国語スピーチ大会」で本校の学生が堂々の大賞受賞！！

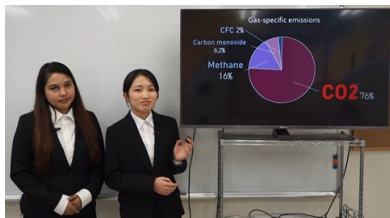
神奈川県韓国総合教育院が主催する「第18回神奈川県韓国語スピーチ大会」は、神奈川県・山梨県・静岡県在住の韓国語学習者を対象とし、韓国語と韓国文化の理解を深め、コミュニケーション能力の向上を目的に毎年開催されています。この大会は、「弁論部門」と「プレゼンテーション部門」の2部門に分かれていますが、本校ではマルチリンガルビジネスコースの片井優芽さん（1年）が、両部門参加者12人のうち堂々の大賞に選出されました。10月16日には駐横浜大韓民国総領事館で授賞式が行われ、ユン・ヒチャン総領事から表彰状と記念品が授与されました。（文）



英語

「第9回全国学生プレゼンテーションコンテスト」一次審査通過！！

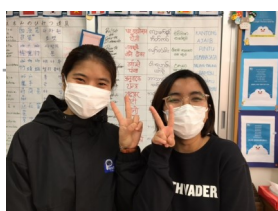
第9回全国学生プレゼンコンテストの時期となりました。今年のテーマは、「1. これからの事態に必要な教育のあり方を提案」「2. 全国の無人駅を活用！人々が集うクリエイティブな企画」「3. 地球規模の気候変動問題に自分たちができることを提案」です。今年は初めての試みとして、1年生3名も参加し、2年生3名と総勢6名応募いたしました。一次審査には全国で1077名が応募いたしました。その中で、2年生全員、1年生1名が合格いたしました。今年はコロナの影響で軒並み大きなスピーチ大会が中止になる中、2次は初めてオンラインで11月21日に行われる予定です。去年の名誉ある奨励賞に続くよう目下精を出して練習に励んでいるところです！1年生2名は惜しくも一次通過を逃しましたが、大変健闘いたしました。来年にこの経験を生かすことができと思います。みんなで応援しています。（田中）



Welcome to KKG family!



今年度は様々なイベントが中止や縮小する中、2020年度の新入生へささやかなプレゼントを贈りました。こんな時代だからこそ、人と人の繋がりは大事なと改めて感じます。私たちの学校を選んで入学してくれた学生のみなさん! 国際ことば学院のFamilyへようこそ!!

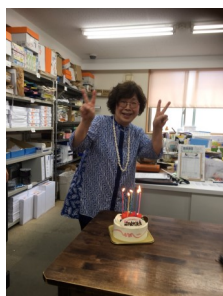


祝! 新たな未来への一歩

今年度の就職支援は、校内で予定していたほとんどのイベントが中止となりました。しかし、「ピンチ」を「チャンス」に変えようと2学期から可能な範囲で動き出した結果、成田空港や広島の実業組合など新しい

企業様とご縁をいただくことができました。そして、「内定」を掴み取った学生たちは2021年春から新天地での生活が始まります。今後は校内で「個別企業説明会」も予定しています。まだまだ厳しい状況は続くと思いますが、学生一人一人と相談しながら就職内定へ向けて頑張ります! (山西)

Happyをおすそわけ♡



8月、我が国際ことば学院理事長の袴田先生のお誕生日でした。

笑顔とHappyおすそわけします♪



静岡東高等学校のみなさんと交流。母国の紹介などをしました。

交流 いろいろ



東海大学付属小学校のみなさんとオンラインで交流

卒業生、韓国でがんばっています!

韓国の釜山外国語大学へ3年生として編入をし留学した佐野愛弥さんが来校してくれました。韓国での学校生活などたくさんお話をききました。

「하늘이 무너져도 솟아날 구멍이 있다」“行き詰まっても開ける道はある”という韓国のことわざがあります。私はこの言葉を胸に留学という夢を叶えました。みなさんも辛いことがあっても最後まであきらめずにがんばってください。



だい かい かんしゃさい 第6回 感謝祭 ～10月3日～

こんねんど しんがた

かんせんかくだいほうし

ズーム

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「zoom」とい

うWeb会議サービスを使い、ハイブリッド型で3会場を結び行いまし

た。メイン会場の富士市交流プラザには出場者などの学生と

審査員、教職員のみとしました。校舎にいる教職員統括チームと、

その他の学生4教室、また、ご視聴希望の連絡をいただいたお客

様も繋ぎ、参加していただきました。お忙しい中、皆様、温かい

おうえん

応援をありがとうございました。

とうじつ

こうれい

ふじ

おんがく

はじ

どうが

はいしん

き

当日はまず、恒例の富士サンバの音楽から始まり、クラスPRの動画を配信しました。ダンスをしたり、ポーズを決めたり、好

きな食べ物を紹介したりするなど、楽しい動画でオープニングを盛り上げてくれました。続いて

はかまだりじちよう

なが

つぎ

袴田理事長からいただいたビデオメッセージが流れ、次にエシャーンさん、

しがい

はじ

こんかい

めい

ミーナさんの司会によりスピーチコンテストが始まりました。今回は6名の学

しゅつじよう

おも

おも

おこな

たち

がくぎよう

生が出場し、思い思いのテーマでスピーチを行いました。学生達は学業

いそが

すいこう

れんしゅう

かさ

さまざま

かつとう

おも

やアルバイトで忙しい中、推敲、練習を重ねてきました。その中で様々な葛藤もあったと思いますが、

それを乗り越え当日ステージに立った6名の学生に心から拍手を送りたいと思います。（次のページでは最優秀賞に輝い

たミヤットさんのスピーチをご紹介します。）

しょうかい

あと

たの

きかく

うつく

どうが

はじ

スピーチの後の楽しみ企画はアチャリヤさんのナレーションによるネパールの美しい動画から始

つづ

たいこうはやくちことばたいかい

きようしつ

かく

まりました。続いてのクラス対抗早口言葉大会では、教室にいる各クラスの

だいひょうしや

めい

はやくちことば

あかまきのみあまきのみまきまきのみ

きそ

けっせん

すえ

いちばんはや

代表者2名につなぎ、日本語で早口言葉「赤巻紙青巻紙黄巻紙」を競いました。決戦の末、一番速く正確

みごとゆうしやう

は

つぎ

えいご

ぼくご

ご

だったナタンさんが見事優勝を果たしました。次にミスラさん、ナタンさんが日本語、英語、母国語による

ひろう

さいご

どうが

ふじ

せいかつ

しょうかい

ラップを披露し、最後にスリランカの1年生がTikTokの動画で富士での生活を紹介します。

か

さまざま

ちゅうし

れいねん

ちが

かた

ぶ

じ

かんしやさい

かいさい

コロナ禍により様々なイベントが中止になる中、例年とは違う形になりましたが無事感謝祭を開催することができました。

最後にりましたが、開催にあたりご協力、ご支援いただいた皆様に深く感謝を申し上げます。

☆スピーチコンテスト☆

ゆうしやうしやう

<優秀賞>

グエン ティ フォン
(ベトナム)お
下を向いていたなら

自分しか見えないよ

カン ティ ユイ
ズオン
(ベトナム)そ
祖母がおし
教えてくれたこと

ベッラナ メイストリゲ

クビンドゥ プラバト

グナティラカ

(スリランカ)

しっぱい

どんなに失敗しても



グエン ティ ユ

チュック

(ベトナム)

みらい
未来は今日から始

まります



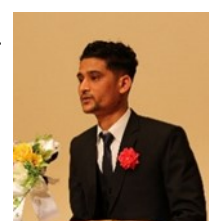
ディヤル ジート

バンドゥル

(ネパール)

じゅう

自由



さいゆうしゅうしょう か い め
【最優秀賞】 2回目のチャンス

スェ リン ミヤット(ミャンマー)



大和まほろば活動報告

時勢から自由な活動が制限される中、大和まほろば日本語学校の学生もあきらめることなく自分の将来に向けて日々勉学に勤しんでおります。

今回は本校の学生の日々の活動の一部をご紹介します。

A・Cクラス発表活動

昨年、初めて行ったスピーチコンテストは今年は残念ながら中止となりましたが、少しでも多くの人前で話す体験をさせようと、クラス内での発表会を行いました。

Aクラスは改めて自己紹介をプレゼンテーション形式で実施。進学面接などを控え、自分の長所、短所、名前の由来など、普段なかなか向き合わない自分と言う人間を見つめ直すいいきっかけになったのではないのでしょうか。

Cクラスは自分の国を紹介しました。あえて写真やビデオを用いず、できるだけ言葉で伝えるように努めました。普段は気心知れた仲間でも、いざ教室の前に立つと、一気に緊張感が増すようで、普段と一味違った表情を見ることができました。



ここで一句…留学生川柳 🍁🍁🍁🍁🍁🍁🍁🍁

授業の一環で俳句と川柳を紹介し、学生の皆にも今の想いを17文字に込めてもらいました。日本へ来てまだ日が浅い彼らには日本らしい俳句の情景は難しかったようですが、自作川柳では素直でまっすぐな留学生らしい作品がたくさんできました。(いくつかブラックなものもありますが、そちらはご笑覧ください…。)



進路状況報告 🍡

今年度はこれまで初の奈良県内の進学、初の4年生大学への進学などが決定しており、初めての多い年となっております。分野でも人気のホテル、観光、ビジネス、語学をはじめ、車、料理、ITなど多岐にわたり、昨今需要の高まる介護分野の道に進む者も増えてきています。

進路決定者(11/11現在)

卒業予定者 22名中

進路決定者 10名(大学1 専門7 就職1 帰国1)

進路未定者 12名(大学3 短大2 専門5 未定2)

学校法人 国際ことば学院 お知らせ

日本語教師養成講座 オンライン個別説明会開催

Zoom・参加費無料・要予約



日本語教師になりたい方、興味のある方必見！

現役日本語教師が様々な疑問にお答えします。養成講座受講に関するご質問にもお答えします。お気軽にご参加ください。

- 日程 ①2021年1月16日(土)
②2021年2月13日(土)
③2021年3月13日(土)

各回ともに以下の時間よりお選びください。

- ①13:00～13:25
②13:30～13:55
③14:00～14:25
④14:30～14:55

■ご予約方法 gaikokugo@kotoba.ac.jp宛にメール

①お名前 ②ご希望日時 ③お電話番号 ④ご住所 ⑤個別説明会を知ったきっかけ

上記をメールにてお知らせください。

資料とZoomミーティングID等を事前にお送りします。

お問い合わせ ☎
054-270-7091

国際ことば学院外国語専門学校 学校説明会

午前の部: 10:30～11:30

午後の部: 13:30～14:30

①12月5日(土) 午後

②12月12日(土) 午後

③2021年1月16日(土) 午前

④2021年2月13日(土) 午前

※Zoomでの説明会もございます。詳しくはお問い合わせください。 ☎054-270-7091

その他行事予定

●富士山日本語学校

12月 防災訓練(1年生対象)

富士警察署・国際交流室主催

Multilingual末續Library便り④

いつもの秋とは少し違う秋ですが、読書には最適な季節になりました。通常の図書室活動にはまだ遠いですが、諸般の事情で遅れていた学内の先生方に向けた「図書館ツアー」を10月に開催しました。1, 2回目は日本語学校の先生方対象、3回目は専門学校の先生方を対象に企画中です。ツアーというほど広い空間ではありませんが、図書室のコンセプト、蔵書の選択基準、配架、多読活動などについてお話をさせていただきました。どんな風に授業に活用できるのか、本のリクエスト等、図書館を利用した教育について先生方のご意見を伺う良い機会となりました。学生主体のイベントや本格的な活動は、未だ難しい状況にありますが、できることを増やしていきたいと思ひます。

今期の多言語Dictionaryは、学生の発案で「ドラえもん辞書」。学生創作のドラえもん短歌や多言語ドラえもん翻訳にもチャレンジしてもらいました。ことばと文化を通じてのゆるやかな交流の場となっているようです。

図書室 西貝理恵子



キミとボクいつもそばにはドラえもん
どうぐなくてもだいすきなんだ(T)

「いいわ毛」をつけていても聞き入れよう
卒業するときあなたは地獄よ (T先生)

<編集後記> 感染症が流行っているこんな時期だからこそ、これまで気づかなかったことに気付けることもあると思います。新しい視点を持って、この苦境の中にもささやかでも喜びや希望を見出していきたいと思ひます。 編集長: 甲斐 / 編集: 竹谷、山田、工藤、佐藤

KOKUSAI KOTOKU GAKUIN GROUP 学校法人 国際ことば学院グループ

COLLEGE OF FOREIGN LANGUAGES
国際ことば学院外国語専門学校

〒422-8062 静岡県静岡市駿河区稲川3-9-4 TEL:054-270-7091 / FAX:054-286-7091
WEBSITE: <http://sp.kotoba.ac.jp> E-MAIL: ask@kotoba.ac.jp

JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
国際ことば学院日本語学校

〒422-8076 静岡県静岡市駿河区八幡3-2-28 TEL:054-284-8383 / FAX:054-284-8338
WEBSITE: <http://jp.kotoba.ac.jp> E-MAIL: info@kotoba.ac.jp

MT.FUJI JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
富士山日本語学校

〒416-0944 静岡県富士市横割1-6-16 TEL:0545-30-8680 / FAX:0545-30-9558
WEBSITE: <http://fujisan.kotoba.ac.jp> E-MAIL: fujisan@kotoba.ac.jp

YAMATO MAHOROKA JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
大和まほろば日本語学校

〒633-0053 奈良県桜井市谷10-1 TEL:0744-44-2424 / FAX:0744-47-2430
WEBSITE: <http://yamato.kotoba.ac.jp> E-MAIL: yamato@kotoba.ac.jp